

第2節 予防対策

1 感染症

(1) 感染症予防事業

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症に対する正しい知識の普及啓発を行うとともに感染症の発生予防やまん延防止のため、感染症の発生情報を提供している。また、感染症の診断を行った医師からの届出を受けて、患者・家族等に対する積極的疫学調査を行い、接触者の健康診断及び保健指導を実施し、感染拡大の防止に努めている。

① 1～3類感染症の発生状況

A. 年度別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
1類	エボラ出血熱、ペスト等	患者等	—	—	—	—	—
2類	急性灰白髄炎	患者等	—	—	—	—	—
	ジフテリア	患者等	—	—	—	—	—
	重症急性呼吸器症候群	患者等	—	—	—	—	—
	結核	患者等	70	95	70	65	72
2類感染症 小計			70	95	70	65	72
3類	腸管出血性大腸菌感染症	患者	11	17	4	4	35
		無症状病原体保有者	—	4	5	10	30
	コレラ	患者等	—	—	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
		疑似症患者	—	—	—	—	—
	細菌性赤痢	患者	—	2	—	1	—
		疑似症患者	—	—	—	—	—
	腸チフス	患者	—	—	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
		疑似症患者	—	—	—	—	—
	パラチフス	患者	—	—	—	—	—
		無症状病原体保有者	—	—	—	—	—
		疑似症患者	—	—	—	—	—
3類感染症 小計			11	23	9	15	65

※平成19年4月に「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」が改正され、感染症分類の見直しが行われた。コレラ・細菌性赤痢・腸チフス・パラチフスが2類から3類に変更され、新たに、結核・重症急性呼吸器症候群が2類感染症に位置づけられた。

B. 月別発生状況

(単位：件)

分類	疾患名	平成26年										平成27年			計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
1類	エボラ出血熱、ペスト等	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
2類	結核	6	8	9	5	13	5	5	6	1	1	9	4	72	
	急性灰白髄炎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	ジフテリア	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	重症急性呼吸器症候群	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	3	—	—	—	2	—	28	5	27	0	—	—	65	
	コレラ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	細菌性赤痢	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	腸チフス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
	パラチフス	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
計		9	8	9	5	15	5	33	11	28	1	9	4	137	

② 集団感染（疑）事例の発生・対応状況

(単位：件)

感染症の種類	病原体の種類	施設の種別				施設数
		医療機関	介護保険施設	保育園	その他	
感染性胃腸炎	ノロウイルス	1	5	1	—	7
感染性胃腸炎	ロタウイルス	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎	アデノウイルス	—	—	—	—	—
感染性胃腸炎	不検出	—	—	20	1	21

③ 感染症予防啓発（健康教育・研修会など）

1) 感染症対策従事者研修会（基礎編）

テーマ	感染症から子どもたちや高齢者の命を守るために一平常時から心がけておきたいこと
日時	平成26年7月28日 10:00～11:30 平成26年8月8日 13:30～15:00
対象者	市内の保健・教育・福祉等関係者
講師	大津市民病院 横谷 恵氏（感染症認定看護師）
参加者数	計141人

感染症対策従事者研修会（医療従事者対象）

テーマ	水痘・高齢者肺炎球菌予防接種の安全実施について
日時	平成26年9月25日 15:00～16:00
対象者	市内の医療・保健関係者
講師	名鉄病院 予防接種センター長 宮津 光伸氏（医師）
参加者数	82人

当課で企画している研修会以外にも、団体より依頼のあった研修会に講師として出動している。

2) 感染症対策出前研修会

テーマ	施設における感染予防について
内容	・集団生活の中で注意すべき感染症について ・標準予防策
対象施設	社会福祉施設（通所・入所施設を優先）
講師	感染症対策担当保健師
出前施設数	23施設
参加者数	258人

3) 感染管理実務担当者会議

議題	情報提供（感染症の発生状況・感染症対策に関する事業） 各施設における平時の感染症対策について情報交換 1 講座「病院における感染経路別予防策」 講師：大津市民病院 横田 恵氏（感染管理認定看護師） 2 講座「施設における感染症予防策」 講師：独立行政法人地域医療機能推進機構滋賀病院 長谷川 亜紀氏（感染管理認定看護師）
日時	1 平成26年9月8日 15:30～17:30 2 平成27年3月18日 15:30～17:10
対象者	1 市内病院感染管理看護師・感染症対策担当者 2 社会福祉施設の感染症対策担当者、市役所所管課（福祉・教育関係課）の感染症対策担当者
参加者数	25人

④ 高病原性鳥インフルエンザ対策

市内での発生を想定し、マニュアルに沿った保健所職員の研修会及び防疫作業に従事する県職員を対象に防護服の着脱研修会を実施した。

開催日	参加者 (人)	内容
平成 26 年 4 月 23 日	保健所職員 22 人	<ul style="list-style-type: none">・高病原性鳥インフルエンザとは・大津市高病原性鳥インフルエンザ人の健康観察実施マニュアルについて・高原性鳥インフルエンザ発生時の保健所の役割について
同 11 月 25 日	保健所職員 25 人	<ul style="list-style-type: none">・高病原性鳥インフルエンザ発生時における保健所の役割・エボラ出血熱の対応について・防護服着脱演習
同 11 月 28 日	保健所職員 25 人	<ul style="list-style-type: none">・高病原性鳥インフルエンザ発生時における保健所の役割・エボラ出血熱の対応について・防護服着脱演習
同 12 月 24 日	滋賀県庁職員 25 人	<ul style="list-style-type: none">・防疫作業従事者の健康管理について・防護服着脱演習

2 結核予防

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、結核患者発生時対策、療養支援、接触者健康診断、登録患者の管理等を行い、結核の発生日防及び患者の早期発見から感染拡大防止を図っている。

(1) 感染症法第37条の規定による結核医療費の被保険者等別公費負担の状況 (単位：件)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者医療保険	生活保護法	その他	合計
			一般	退職					
	本人	家族		本人	家族				
前年末数	-	-	-	-	-	1	-	-	1
新規承認数	2	-	2	-	-	17	2	-	23
解除数	2	-	2	-	-	16	1	-	21
本 年 末	-	-	-	-	-	2	1	-	3

※入院勧告を実施した場合における当該患者が感染症指定医療機関において受ける医療に要する費用を公費負担するもの（平成26年1月～12月末）。

(2) 感染症法第37条の2の規定による結核医療費の被保険者別公費負担の状況 (延件数)

区 分	被用者保険		国民健康保険			後期高齢者医療保険	生活保護法	その他	無保険	合計
			一般	退 職						
	本人	家族		本人	家族					
申 請	25	7	13	1	-	40	4	1	0	91
承 認	25	7	13	1	-	40	4	1	0	91
不承認	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※結核患者が結核指定医療機関において厚生労働省で定める医療を受けるために必要な費用の95%に相当する額を公費負担するもの（平成26年1月～12月末）。

(3) 結核新登録状況

新登録患者状況（年齢階級別） (単位：人)

年齢	新登録患者		活動性結核							潜在性結核感染症（別掲）
			活動性肺結核						肺外結核	
	患者数	罹患率	総数	喀痰塗抹陽性			その他の結核菌陽性	菌陰性・その他		
				初回治療	再治療	計				
0～4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
5～9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10～14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15～19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
20～29歳	1	2.9	1	-	-	-	-	1	-	3
30～39歳	2	4.5	2	2	-	2	-	-	-	3
40～49歳	4	7.8	3	1	-	1	-	2	1	5
50～59歳	2	4.7	2	-	-	-	1	1	-	3
60～69歳	5	10.5	3	1	-	1	1	1	2	1
70歳以上	33	58.9	19	14	-	14	2	3	14	2
合 計	47	13.7	30	18	-	18	4	8	17	20

(平成26年1月～12月末)

(4) 結核登録者状況

登録者状況 (年齢階級別)

(単位:人)

区分	登録患者		活動性結核								有病率	不活動性結核	不明	潜在性結核感染症 (別掲)
	登録者数	登録率 (人口10万対)	活動性結核総数	活動性肺結核					肺外結核					
				登録時喀痰塗抹陽性			登録時その他の結核菌陽性	その他						
				初回治療	再治療	計								
0~4歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
5~9歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
10~14歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
15~19歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
20~29歳	2	5.8	1	1	-	-	-	-	1	-	2.9	1	-	8
30~39歳	7	15.9	2	2	2	-	2	-	-	-	4.5	3	2	13
40~49歳	15	29.2	4	3	1	-	1	-	2	1	7.8	6	5	27
50~59歳	8	18.9	3	3	-	-	-	2	1	-	7.1	3	2	16
60~69歳	13	27.3	3	3	1	-	1	1	1	-	6.3	4	6	5
70歳以上	68	121.4	24	13	9	-	9	1	3	11	42.8	35	9	1
合計	113	33.0	37	25	13	-	13	4	8	12	10.8	52	24	77

(平成26年12月末現在)

(5) 結核登録除外状況

(単位:件)

区分	死亡		観察不要	転出	転症	計
	結核	その他				
大津市	1	19	51	4	3	78

(平成26年1月~12月末)

(6) 結核患者保健指導 (平成26年)

新規登録患者に対しては、積極的疫学調査及び服薬支援等を目的に全数実施している。

対象者 (新規登録者): 67人

実施方法及び件数: 訪問 50件、来所 10件、電話 7件

(7) DOTS (直接服薬確認療法) 事業 (平成26年)

大津市結核患者療養支援事業実施要領を策定し、服薬継続のためのアセスメント票に基づき、訪問・電話等により継続的な服薬支援を実施している。

対象者: 88人

実施方法及び件数 (延べ): 訪問 80件、電話 131件、来所 36件、その他 (メール等) 3件

(8) 接触者健康診断 (平成26年度)

結核患者の発生届けを受理し、積極的疫学調査の結果、結核に感染していると疑われる者について法律第17条により、二次感染による患者の発生予防及び早期発見のため健康診断を実施している。

対象者数: 329人、受診者総数 320人 (職場健診等他機関実施分 18人含む)、受診率: 97.2%

健診結果: 異常なし 311人、潜在性結核感染症 8人、肺結核 1人

区分		保健所 実施分	医療機関 委託分
受診者数 (延件数)		360	35
内訳	胸部エックス線検査	193	34
	ツベルクリン反応検査	1	14
	IGRA 検査	210	13
	喀痰検査	-	1

単位: 件

※検査項目の

重複実施あり

3 特定感染症

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」および「特定感染症検査等事業実施要綱」に基づき、正しい知識の普及啓発を行うとともに、早期発見及びまん延防止のため、性感染（梅毒）検査、HTLV-1検査、HIV抗体検査、肝炎ウイルス検査（B型・C型）を実施している。

(1) 相談数

(単位：件)

区 分		来所 (検査時も含む)	電話	合計	
梅毒	男	209	1	210	
	女	105	-	105	
HIV	男	348	16	364	
	女	172	8	180	
	相談内容延件数 (単位：件)		988	62	1050
	相談内容	症状について	145	16	161
		検査について	251	19	270
		感染経路	225	15	240
		予防方法	175	11	186
患者発生状況		22	1	23	
その他	170	-	170		
HBV	男	196	-	196	
	女	109	1	110	
HCV	男	194	-	194	
	女	100	1	101	
HTLV-1	男	2	1	3	
	女	1	1	2	

(2) 特定感染症検査実施状況

【検査日時】

毎月第2・4火曜日 13:10～15:30 計23回

即日検査 (梅毒、HIV抗体、B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査)

毎月第2火曜日 16:00～16:30 計11回

通常検査 (HTLV-1抗体検査)

○検査受検者数

(単位：人)

区 分		19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50歳以上	合計
梅毒	男	4	48	67	34	20	173
	女	2	50	20	9	3	84
HIV	男	4	48	67	34	23	176
	女	2	51	19	10	4	86
HBV	男	4	48	67	34	23	176
	女	2	52	20	10	8	92
HCV	男	4	47	67	34	21	173
	女	-	51	20	10	7	88
HTLV-1	男	-	1	1	-	-	2
	女	-	1	-	-	-	1

(3) HIV普及啓発事業

HIV・エイズに関する正しい知識の普及を目的に市内店舗の協力や大学との連携により啓発活動を行っている。

○HIV検査普及週間関連イベント (平成26年6月1日～6月7日)

協力店舗 (コンビニエンスストア) 14店舗に啓発資材を設置

啓発資材配布数：1,276部

京阪電車へのポスター掲示

○おおつ健康フェスティバル

啓発コーナーの設置

○世界エイズデー関連イベント（平成26年12月1日～12月9日）

市内大学や専門学校に啓発資材を設置

啓発資材配布数：1,520部

京阪電車へのポスター掲示

○啓発ポスターの作成、掲示依頼

75機関（大学・専門学校：12 病院：15 公共施設：47 医師会1）

（4）緊急肝炎ウイルス検査

ウイルス性肝炎のハイリスク者で過去に肝炎ウイルス検査を受けたことがない方を対象として、指定医療機関において肝炎ウイルス検査（B型・C型）を実施している。

○受検者数

（単位：人・件）

区分	実人数	検査種別（延べ件数）	
		HBs	HCV
受検者数	3	3	3

（5）肝炎治療特別促進事業申請受付

滋賀県からの委託を受けて、肝炎治療特別促進事業（インターフェロン治療・核酸アナログ製剤治療に係る医療費を助成し、患者の治療へのアクセスを改善することにより、肝硬変・肝がんの予防を図ることを目的とする。）の申請受付を行っている。

○申請受付状況

（単位：件）

種別・性別	年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
		B型肝炎 インターフェロン 治療	男	-	-	-	-	-	-	-
	女	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	計	-	-	-	-	-	-	-	-	-
C型肝炎 インターフェロン 治療	男	-	1	2	14	13	25	9	2	66
	女	-	-	1	1	7	18	21	5	53
	計	-	1	3	15	20	43	30	7	119
インターフェロン 治療 計	男	-	1	2	14	13	25	9	2	66
	女	-	-	1	1	7	18	21	5	53
	計	-	1	3	15	20	43	30	7	119
B型肝炎 核酸アナログ製剤 治療	男	-	-	5	29	32	37	11	-	114
	女	-	-	1	6	12	19	11	-	49
	計	-	-	6	35	44	56	22	-	163
インターフェロン治療 核酸アナログ製剤 治療 合計	男	-	1	7	43	45	62	20	2	180
	女	-	-	2	7	19	37	32	5	102
	計	-	1	9	50	64	99	52	7	282

（6）風しん抗体価検査

先天性風しん症候群の予防のために、予防接種が必要である風しん感受性者を効率的に抽出するため、抗体検査を無料で行い、風しんウイルス感染のハイリスク者への予防接種の勧奨を行うことを目的に平成26年度より実施している。

○風しん抗体検査実施状況

（単位：人）

	19歳以下	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳以上	合計
男	0	102	179	55	4	0	340
女	5	147	176	19	5	2	354
合計	5	249	355	74	9	2	694

4 予防接種

伝染のおそれがある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与することを目的として、予防接種法第5条に基づき各種予防接種を実施している。

平成25年度よりヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がんが定期化された。平成26年10月より水痘、高齢者肺炎球菌が定期化された。

全国的に風しんが流行したため、先天性風しん症候群の予防を目的に、緊急対策として平成25年度より風しん予防接種について費用助成を行っている。

(1) 定期接種予防接種者数

①ポリオ

(単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加	合計
	1 回目	2 回目	3 回目		
25	280	648	866	2,270	4,064
26	47	130	163	1,395	1,735

②四種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風・ポリオ）(単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加	合計
	1 回目	2 回目	3 回目		
25	3,055	3,030	2,919	275	9,279
26	3,017	2,980	2,926	2,577	11,500

③三種混合（百日咳・ジフテリア・破傷風）

(単位：件)

年度	I 期初回			I 期追加	合計
	1 回目	2 回目	3 回目		
24	2,011	2,342	2,554	3,258	10,165
25	63	124	202	2,862	3,251
26	6	8	16	582	612

※四種混合ワクチンへの切り替えに伴い、平成26年12月三種混合ワクチンの製造が中止された。

④BCG

(単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
24	2,966	2,771	93.4
25	2,930	2,642	90.2
26	3,019	2,968	98.3

※平成25年度より、対象者が生後12か月に至るまでの者に引き上げられた。

⑤日本脳炎

(単位：件・%)

年度	I 期（初回接種）				I 期（追加接種）			II 期（追加接種）			延べ接種者数
	対象者	接種者		接種率	対象者	接種者	接種率	対象者	接種者	接種率	
		1 回目	2 回目								
24	3,170	3,983	4,074		3,264	5,347		3,528	2,041		15,445
25	3,190	3,602	3,605		3,205	4,315		3,456	1,290		12,812
26	3,219	3,735	3,550		3,236	3,817		3,290	1,452		12,554

※1. 接種率は特例対象者がいるため出していない。

※2.平成17年5月30日より、平成22年3月末まで、接種勧奨を差し控えた。

※3.平成22年度より、3歳児の接種勧奨を再開。

※4.平成23年5月20日より、平成7年6月1日から平成19年4月1日までに生まれた者を特例対象者として、接種年齢が緩和された。

※5.平成25年度より、平成7年4月2日から平成7年5月31日までに生まれた者も特例対象者に追加された。

⑥ 二種混合（ジフテリア・破傷風）

（単位：件・％）

年度	対象者	接種者	接種率
24	3,424	2,762	80.6
25	3,441	2,723	79.1
26	3,450	2,817	81.7

⑦ 麻しん・風しん

（単位：件・％）

年度	第1期			第2期				
	対象者	接種者	接種率	対象者	接種者	接種率		
24	3,106	麻風混合	3,130	100.8	3,126	麻風混合	3,097	99.1
		麻しん	-			麻しん	-	
		風しん	-			風しん	-	
25	3,094	麻風混合	2,907	94.0	3,286	麻風混合	3,163	96.5
		麻しん	1			麻しん	1	
		風しん	1			風しん	6	
26	3,105	麻風混合	3,026	97.5	3,245	麻風混合	3,124	96.3
		麻しん	1			麻しん	-	
		風しん	-			風しん	-	

※平成25年度からは経過措置が終了しているため、第3期及び第4期を廃止した。

⑧ 水痘

（単位：件）

年度	1回目	2回目	合計
26	6,358	446	6,804

※平成26年10月から水痘予防接種が定期接種化された。初年度のみ、特例として任意接種で一度も接種していない3歳及び4歳の者も対象となった。

⑨ ヒブ

（単位：件）

年度	初回接種者			I期追加	合計
	1回目	2回目	3回目		
25	3,288	3,125	3,295	3,354	13,062
26	3,044	3,004	2,988	2,997	12,033

⑩ 小児用肺炎球菌

（単位：件）

年度	初回接種者			I期追加	合計
	1回目	2回目	3回目		
25	3,293	3,182	3,148	2,920	12,543
26	3,050	3,030	2,981	2,942	12,003

⑪ HPV

(単位：件)

年度	接種者			合計
	1回目	2回目	3回目	
25	116	154	234	504
26	12	15	24	51

※平成25年6月から接種勧奨を差し控えた。

⑫ 高齢者インフルエンザ

(単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
24	71,246	34,995	49.1
25	75,082	36,811	49.0
26	78,786	39,039	49.6

⑬ 高齢者肺炎球菌

(単位：件・%)

年度	対象者	接種者	接種率
26	18,546	8,763	47.3

※平成26年10月から高齢者肺炎球菌が定期接種化された。平成26年10月1日から平成27年3月31日までの間は、特例として平成26年3月31日現在100歳以上の者及び、年度内に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、100歳となる者を対象とし実施した。

(2) 風しん任意予防接種費用助成

年度	費用助成件数
25	1291
26	179

*平成25年より、全国的に風しんが流行したため、費用助成を実施している。

5 特定疾患（指定難病）

当該事業は、滋賀県特定疾患治療研究事業であり、県から委託を受け特定疾患医療受給者証の申請受付及び經由事務を行っている。なお、平成 27 年 1 月に「難病の患者に対する医療等に関する法律」が施行され、これにより当事業は一部を除き特定医療費（指定難病）支給認定事務へと移行した。

（１）特定疾患（平成 27 年 1 月より指定難病を含む）医療受給者証申請受付数

（平成 27 年 3 月 31 日現在）（単位：件）

新規申請数	更新申請数
421	2,337

（２）特定医療費（指定難病）医療受給者証交付件数（平成 27 年 3 月 31 日現在）

（単位：件）

（単位：件）

番号	病名	交付者数
1	球脊髄性筋萎縮症	3
2	筋萎縮性側索硬化症	17
3	脊髄性筋萎縮症	6
4	原発性側索硬化症	0
5	進行性核上性麻痺	15
6	パーキンソン病	392
7	大脳皮質基底核変性症	13
8	ハンチントン病	5
9	神経有棘赤血球症	0
10	シャルコー・マリー・トゥース病	0
11	重症筋無力症	64
12	先天性筋無力症候群	0
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	52
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	10
15	封入体筋炎	1
16	クロウ・深瀬症候群	0
17	多系統萎縮症	37
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	58
19	ライソゾーム病	0
20	副腎白質ジストロフィー	0
21	ミトコンドリア病	1
22	もやもや病	42
23	プリオン病	0
24	亜急性硬化性全脳炎	0
25	進行性多巣性白質脳症	0
26	HTLV-1 関連脊髄症	1
27	特発性基底核石灰化症	0
28	全身性アミロイドーシス	4
29	ウルリッヒ病	0

番号	病名	交付者数
30	遠位型ミオパチー	1
31	ベスレムミオパチー	0
32	自己食空胞性ミオパチー	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0
34	神経線維腫症	9
35	天疱瘡	9
36	表皮水疱症	0
37	膿疱性乾癬（汎発型）	3
38	ステイーヴンス・ジョンソン症候群	0
39	中毒性表皮壊死症	0
40	高安動脈炎	9
41	巨細胞性動脈炎	0
42	結節性多発動脈炎	14
43	顕微鏡的多発血管炎	6
44	多発血管炎性肉芽腫症	4
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	1
46	悪性関節リウマチ	23
47	バージャー病	14
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	127
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	49
51	全身性強皮症	47
52	混合性結合組織病	23
53	シェーグレン症候群	1
54	成人スチル病	3
55	再発性多発軟骨炎	1
56	ベーチェット病	41
57	特発性拡張型心筋症	133
58	肥大型心筋症	15

(単位：件)

番号	病名	交付者数
59	拘束型心筋症	1
60	再生不良性貧血	26
61	自己免疫性溶血性貧血	0
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	0
63	特発性血小板減少性紫斑病	63
64	血栓性血小板減少性紫斑病	0
65	原発性免疫不全症候群	3
66	IgA 腎症	13
67	多発性嚢胞腎	10
68	黄色靱帯骨化症	10
69	後縦靱帯骨化症	69
70	広範脊柱管狭窄症	19
71	特発性大腿骨頭壊死症	51
72	下垂体性 ADH 分泌異常症	2
73	下垂体性 TSH 分泌亢進症	2
74	下垂体性 PRL 分泌亢進症	3
75	クッシング病	2
76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	6
78	下垂体前葉機能低下症	29
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1
80	甲状腺ホルモン不応症	0
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	0
82	先天性副腎低形成症	0
83	アジソン病	0
84	サルコイドーシス	57

(単位：件)

番号	病名	交付者数
85	特発性間質性肺炎	28
86	肺動脈性肺高血圧症	8
87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
88	慢性血栓栓性肺高血圧症	5
89	リンパ管筋腫症	1
90	網膜色素変性症	58
91	バッド・キアリ症候群	3
92	特発性門脈圧亢進症	0
93	原発性胆汁性肝硬変	52
94	原発性硬化性胆管炎	1
95	自己免疫性肝炎	3
96	クローン病	114
97	潰瘍性大腸炎	557
98	好酸球性消化管疾患	0
99	慢性特発性偽性腸閉塞症	0
100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
101	腸管神経節細胞僅少症	0
102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
103	CFC 症候群	0
104	コステロ症候群	0
105	チャージ症候群	0
106	クリオピリン関連周期熱症候群	0
107	全身型若年性特発性関節炎	0
108	TNF 受容体関連周期性症候群	0
109	非典型溶血性尿毒症症候群	0
110	ブラウ症候群	0
合 計		2452

(3) 特定疾患医療受給者証交付件数（平成 27 年 3 月 31 日現在）

(単位：件)

番号	病名	交付者数
5	スモン	7
18	難治性肝炎のうち劇症肝炎	0
32	重症急性膵炎	12
54	重症多形滲出性紅斑	0
合 計		19

6 難病

難病対策推進事業

当該事業は、国の難病特別対策推進事業実施要綱に基づき、難病患者等に対し、総合的な相談・支援や在宅療養上の適切な支援を行うことにより安定した療養生活の確保と難病患者およびその家族の生活の質(QOL)の向上に資することを目的として実施している。

(1) 特定疾患（平成27年1月より指定難病を含む）申請時面接相談（単位：件）

新規申請者数	新規申請時面接相談	更新申請者数	更新申請時面接相談
421	408	2,337	1,929

(2) 難病患者訪問指導及び面接相談（単位：件）

	訪問指導		面接相談	
	実人数（人）	延べ件数（件）	実人数（人）	延べ件数（件）
筋萎縮性側索硬化症	11	23	9	18
その他の難病	22	32	82	93
計	33	55	91	111

(3) 医療講演会及び相談会

① 強皮症・皮膚筋炎・多発性筋炎医療講演会（草津保健所と合同開催）

開催日・場所	大津管内参加人員	内 容
平成26年9月23日 大津市生涯学習センター	患者 17人 家族 8人 計 25人 (参加総数 49人)	講演：「強皮症・皮膚筋炎および多発性筋炎の病気の理解と日常生活の過ごし方」 講師：藤井 隆夫 氏（医師） (京都大学医学部附属病院 リウマチセンター 特定教授)

② 間脳下垂体機能障害医療講演会及び交流会（草津保健所と合同開催）

開催日・場所	大津管内参加人員	内 容
平成26年10月4日 滋賀県草津保健所	患者 5人 家族 2人 計 7人 (参加総数 22人)	講演：「間脳下垂体の病気の理解と療養のポイント」 講師：卯木 智 氏（医師） (滋賀医科大学医学部附属病院 糖尿病腎臓神経内科)

③ パーキンソン病医療講演会及び従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
平成26年9月17日 大津市役所新館 大会議室	患者 34人 家族 26人 関係機関 52人 計 112人	講演：「学ぼう！パーキンソン病のリハビリテーション」 講師：中馬 孝容 氏（医師） (滋賀県成人病センター リハビリテーション科)

④ テーマ別患者・家族交流会

開催日・場所	参加人員	内 容
平成26年6月9日 明日都浜大津4階 ふれあいプラザ ホール	患者 4人 家族 8人 計 12人	講演：「知って役立つ 食事の摂り方」 講師：松田 芳恵 氏（言語聴覚士） (京都光華女子大学健康科学部 准教授)

(4) 難病従事者研修会

① 神経難病従事者研修会 1

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 26 年 12 月 18 日 大津市役所新館 大会議室	介護支援専門員 34 人 介護職 4 人 看護師 4 人 その他 3 人 計 45 人	講演：「知って役立つ 住宅改修と福祉用具」 講師：谷口 昌宏 氏 (住まいと介護研究所 所長)

② 神経難病従事者研修会 2

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 27 年 3 月 8 日 明日都浜大津 4 階 ふれあいプラザ ホール	医師 1 人 介護支援専門員 15 人 看護師 5 人 保健師 3 人 その他 9 人 計 33 人	基調講演：「病院と地域の連携～難病患者の支援を通して地域に期待すること」 講師：川田 明広 氏 (医師) (東京都立神経病院 副院長) パネルディスカッション：「大津市の難病支援の現状と今後を考える」

③ 災害対策従事者研修会

開催日・場所	参加人員	内 容
平成 26 年 5 月 16 日 明日都浜大津 5 階 ふれあいプラザ 大会議室	介護支援専門員 26 人 訪問介護員 7 人 看護師 3 人 その他 6 人 計 42 人	講演：①「平時のそなえ 台風 18 号から学ぶ」②「災害時個別支援計画の作成について」③「災害時個別支援計画を作成してみよう」 講師：①堀井 庸平 氏 (大津市危機・防災対策課) ②今井 妃代 (大津市保健所保健予防課) ③細見 美津子 氏 (居宅介護支援事業所みちくさ)、中村 克枝 氏 (くらいすケア)

(5) ケース検討会

筋萎縮性側索硬化症等の神経難病を中心に、多機関でチーム支援を必要とするケースに対して関わる地域スタッフとともに支援方法について検討した。年 30 回実施

(6) ケアマネジメント・アドバイザー事業

関係スタッフだけでは解決困難なケースの処遇等を検討する場を設け、より適切で円滑な療養支援を図ると共に患者・家族の QOL の向上を図るために難病患者におけるケアマネジメント・アドバイザー事業を 4 回開催した。

- 白質ジストロフィー患者の階段昇降と介助方法の検討
アドバイザー：大津市保健所保健総務課 西山 直樹 (理学療法士)
- 封入体筋炎患者の障害特性に合わせた介助方法の検討
アドバイザー：大津市保健所保健総務課 西山 直樹 (理学療法士)
- ALS 患者の尖足悪化防止のアドバイスと自宅でできるリハビリの検討
アドバイザー：大津市保健所保健総務課 西山 直樹 (理学療法士)
- ALS 患者の特性に合わせた移乗介助の方法の検討
アドバイザー：大津市保健所保健総務課 西山 直樹 (理学療法士)

(7) 在宅療養支援体制の整備に関する事業

大津市神経難病在宅支援対策推進会議

区分	開催日・場所	出席者	内 容
第 1 回	平成 26 年 8 月 21 日 大津市保健所大会議室	重症難病医療拠点・協力病院等関係機関 28 人	・大津市難病患者地域支援対策推進事業について ・難病患者に対する医療等に関する法律について ・難病対策地域協議会について ・大津市神経難病在宅療養支援ガイドブックについて

第2回	平成27年3月12日 大津市保健所大会議室	重症難病医療拠点・協力病院等関係機関 28人	<ul style="list-style-type: none"> ・難病患者の療養状況について ・難病患者地域支援対策推進事業の取り組み状況報告 ・国の難病対策の動向について ・次年度の事業計画について
-----	--------------------------	---------------------------	---

(8) 各種関係団体への支援

① 全国パーキンソン病友の会滋賀県支部活動支援

パーキンソン病医療講演会及び従事者研修会において、友の会の活動内容を紹介した。

② ケアクラフト002（自助具工房）活動支援

特定疾患更新申請時に各会場で自助具の展示コーナーを設置し、自助具や活動内容の紹介等を行った。また、パーキンソン病医療講演会及び従事者研修会において、自助具の展示コーナーを設けた。

7 精神保健

(1) 精神保健福祉対策

保健所は、地域精神保健福祉活動の第一線機関として、精神障害者の早期治療や社会復帰を支援するため、専門医・心理士・保健師による相談・訪問指導、関係機関との定例事例検討会の開催、精神障害者の家族教室等の事業を行っている。

① 精神障害者保健福祉手帳の申請交付状況

(単位：件)

区分	1級	2級	3級
18歳以上	166	1,254	487
18歳未満	3	15	13
計	169	1,269	500
		1,938	

年次推移

(単位：件)

等級	H22	H23	H24	H25	H26
1級	125	140	152	163	169
2級	876	968	1,098	1,192	1,269
3級	372	390	435	463	500
計	1,373	1,498	1,685	1,818	1,938

② 通院医療費公費負担状況

(単位：延べ件)

区分	計		20歳未満		20～29歳		30～39歳	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大津市	2,200	2,019	105	151	249	250	420	370
	4,219		256		499		790	

区分	40～49歳		50～59歳		60～64歳		65歳以上	
	男	女	男	女	男	女	男	女
大津市	580	552	387	381	149	122	310	193
	1,132		768		271		503	

(2) 精神保健福祉相談、訪問等

精神疾患や精神障害を持つ人及び家族に対して、正しい知識を提供するとともに、本人及び家族が早期に適切な対処ができるよう支援することを目的として、専門医や保健師による相談を実施している。

(単位：件)

区分	相談、デイケア、訪問指導				相談(再掲)								
	新規者の受付経路				延 人 員								
	実人員	市町	医療機関	その他	実人員	社会復帰	高齢者	アルコール	薬物	思春期	心の健康	一般	計
男	165	6	7	38	123	1	10	15	2	56	65	142	291
女	113	9	9	22	91	-	2	5	3	6	176	98	290
計	278	15	16	60	214	1	12	20	5	62	241	240	581

区分	デイケア(再掲)		訪問指導(再掲)										電話相談(含メール)延人員
	実人員	延人員	実人員	延 人 員									
				社会復帰	高齢者	アルコール	薬物	思春期	心の健康	一般	計		
男			90	-	6	16	1	28	51	106	208		
女			57	-	2	1	-	4	62	61	130		
計			147	-	8	17	1	32	113	167	338	2,955	

① 一般精神保健福祉相談（医師によるもので、高齢者を含む）

A. 本人の年齢別、相談者の内訳

（単位：人）

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	不詳	合計
本人	-	-	1	1	2	3	-	7
家族	-	1	-	1	5	2	-	9
保健師、福祉	-	-	-	-	-	1	-	1
その他	-	-	-	-	-	-	-	-
合計	-	1	1	2	7	6	-	17

B. 相談者別、本人の受療状況

（単位：人）

区分	未受診	受療中	治療中断	合計
本人	2	-	-	2
家族	14	-	-	14
保健師、福祉	1	-	-	1
その他	-	-	-	-
合計	17	-	-	17

C. 本人の年齢別、診断名の内訳（重複あり）

（単位：人）

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	不詳	合計
統合失調症	-	-	-	-	2	1	-	3
神経症	-	-	-	-	-	-	-	-
アルコール依存症疑	-	-	-	-	-	-	-	-
高齢者精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
パーソナリティ障害	-	-	-	-	-	-	-	-
妄想性障害	-	-	-	-	1	1	-	2
感情障害	-	-	-	-	-	-	-	-
心因反応	-	-	-	-	-	-	-	-
非定型精神病	-	-	-	-	-	-	-	-
認知症	-	-	-	-	1	3	-	4
発達障害	-	-	-	1	1	-	-	2
その他	-	1	1	1	3	1	-	7
合計	-	1	1	2	8	6	-	18

D. 相談医の指示の内訳（重複あり）

項目	件数
要医療、受診指導	12
主治医に相談	-
対応指導	5
その他	-
合計	17

② 思春期精神保健福祉相談（医師によるもの）

A. 本人の年齢別、相談者の内訳

（単位：人）

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
本人	-	4	3	1	8
家族	1	2	8	1	12
保健師、福祉	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
計	1	6	11	2	20

B. 相談者別、本人の受療状況

(単位：人)

区分	未受診	治療中	治療中断	合計
本人	6	-	-	6
家族	14	-	-	14
保健師、福祉	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
計	20	-	-	20

C. 相談内容の内訳

項目	件数
ひきこもり	20
未就労	-
不登校・進路	-
暴力	-
強迫症状	-
パニック	-
その他	-
計	20

D. 相談医の指示の内容

項目	件数
要医療、受診指導	5
主治医に相談	-
対応指導	15
その他	-
合計	20

E. 本人の年齢別、診断名の内訳(重複あり)

(単位：人)

年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40歳～	計
統合失調症疑	-	-	2	-	2
社会的ひきこもり	-	1	5	-	6
広汎性発達障害疑	1	5	1	-	7
強迫性障害	-	-	1	-	1
摂食障害	-	-	-	-	-
うつ状態	-	-	-	-	-
パーソナリティ障害	-	-	-	-	-
その他	-	-	2	2	4
計	1	6	11	2	20

③ ひきこもり心理相談

思春期相談で社会的ひきこもりや発達障害疑いと判断され、本人に対して継続的な相談が必要なケースについて、月1回、定例で臨床心理士による面接を実施している。

実施状況：12回 延べ34件 実人数4人

④ 定例ケース検討会開催状況

目的：精神障害者への個別支援を行うに際して処遇困難ケースや多問題を抱えるケースの検討を行い支援者が対応の方向性を明らかにする機会とする。

開催状況：6回

助言者：精神保健福祉センター 地区担当医 保健師

(単位：件)

開催回数		6
検討延べ件数		7
相談 経路	保健所の保健師	1
	健康推進課・すこやか相談所の保健師	1
	あんしん長寿相談所のスタッフ	2
	学校の教師	1
	児童相談所・子ども家庭相談室の相談員	1
	障害者相談支援事業所の相談員	-
	天津市社会福祉協議会の職員	1
事例 の 対象	一般	2
	アルコール	-
	思春期	1
	薬物依存	-
	発達障害	1
	パーソナリティ障害	-
その他	3	

(2) 家族教室、家族交流会事業

① 家族教室

目的：病気に対する正しい知識を習得し、家族への接し方や関わり方を学ぶ

対象：統合失調症の患者の家族で主治医に了承がとれ、継続して参加できる家族

区分	日時	参加者数	内容	スタッフ
第1回	平成26年10月30日 14:00～16:00	8人 [7家族]	講話：「統合失調症という病気について」 講師：中島聡医師 家族交流	保健予防課 すこやか相談所 障害福祉課 オアシスの郷 やすらぎの職員
第2回	同年11月13日 14:00～15:30	4人 [4家族]	大津市制度やサービスの紹介 家族交流	
第3回	同年12月11日 14:00～16:00 (家族交流会と合同開催)	3人 [3家族]	物事の捉え方について 湖の子会について 家族交流	

② 家族交流会

目的：精神障害者をかかえる家族間で相互交流を深め家族の孤立を防ぐことで、家族がゆとりをもって暮らすことができ、主体的に活動への参加ができる

対象：平成25年度までに「家族教室」へ参加した精神障害者を抱える家族（83家族）

区分	日時	参加者数	内容	スタッフ
第1回	平成26年7月10日 14:00～16:00	22人 (20家族)	法改正とオアシスの郷の取り組みについて、家族交流 (オアシスの郷にて開催)	保健予防課 すこやか相談所 障害福祉課 オアシスの郷 やすらぎの職員
第2回	同年9月25日 14:00～16:00	31人 (29家族)	成年後見制度について、家族交流	
第3回	同年12月11日 14:00～16:00 (家族教室と合同開催)	20人 (20家族)	物事の捉え方について、湖の子会について、 家族交流	
第4回	平成27年2月6日 14:00～16:00	26人 (25家族)	講話：「統合失調症とリハビリテーション」 講師：中島聡医師 家族交流	

③ ひきこもり家族交流会

目的：ひきこもりケースの家族を対象に学習会および家族交流を通じて

- ・ひきこもりの理解をする。
- ・日頃の対応を見直せるよう支援する。

対象：思春期精神保健相談を利用し、医師の判定で精神疾患・障害が否定された15歳以上のひきこもりケースの家族。(28家族)

区分	日時	参加者数	内容	スタッフ
第1回	平成26年6月24日 14:00～16:00	9人 (8家族)	「チームfindについて」 家族交流・意見交換 助言者 精神保健福祉士(障害者相談・生活支援センターやすらぎ)	保健予防課 やすらぎの職員
第2回	同年8月4日 14:00～16:00	6人 (5家族)	「家族のコミュニケーションについて」 家族交流・意見交換 助言者 臨床心理士(心理相談担当)	
第3回	同年12月12日 14:00～16:00	11人 (10家族)	「ひきこもりと関連しやすい精神疾患について」 家族交流・意見交換 助言者 精神科医師(思春期相談担当)	
第4回	平成27年3月10日 14:00～16:00	12人 (11家族)	「ひきこもり当事者からのメッセージ」 家族交流・意見交換 助言者 仲間の会メンバー、臨床心理士(ひきこもり支援センター)	

(4) 精神保健福祉ボランティア連絡会

精神保健福祉関連の施設や地域でのサロンにおいて活動中のボランティアに対し、情報交換の場や学習の機会を設け、ボランティアの自主性を高め、活動の活性化を図ることを目的として実施している。精神保健ボランティア活動をされている18人に案内送付した。

日時：平成26年10月10日 14:00～16:00

場所：大津市保健所 指導相談室

内容：研修「統合失調症の理解とその対応について」

意見交換「地域での活動について」 講師・助言 石黒淳医師

参加者：11名

(5) 従事者研修会

大津市自殺対策研修会

区分	日時	参加者数(人)	内容
第1回	平成26年10月8日 13:30～16:00	53人 (医療機関3名、民児協20名、大津市18名、滋賀県3名、他9名)	・研修「生き心地の良い町とは？」 講師：岡壇先生（和歌山県立医科大学保健看護学部） ・保健所保健師による傾聴のロールプレイ
第2回	平成27年3月16日 13:30～15:30	76人 (医療機関10名、民児協18名、大津市25名、滋賀県3名、他20名)	・研修「トラウマケアと自殺予防」 講師：白川美也子医師（心と体・光の花クリニック） ・「大津市自殺未遂者支援相談対応の手引き」の紹介

(6) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく申請、通報、鑑定状況

精神障害者又はその疑いのある者について、ただちに入院させなければ、精神障害のために自身を傷つけ、または他人を害するおそれがある者に対し、法律に規定する警察の通報等に基づき、その者について指定医の診察をさせるため、滋賀県に対し通報等の経由事務を行う。

① 申請・通知状況

(単位：件)

区分		大津市	市外	計
性別	男	42	3	45
	女	18	1	19
	計	60	4	64
申請・通報状況	家族	-	-	-
	本人	-	-	-
	住民・職場	-	-	-
	保健福祉医療関係者	4	3	7
	救急隊	-	-	-
	警察	38	1	39
	検察官	-	-	-
	矯正施設の長	18	-	18
	知事	-	-	-
	計	60	4	64

② 調査状況

(単位：件)

区分	申請	通報				計
	22条	23条	24条	26条	26条の2	
実件数	7	39	-	18	-	64
調査件数	7	39	-	18	-	64
診察件数(27条)	6	21	-	-	-	27
緊急措置入院数(29条の2)	6	16	-	-	-	22

③ 診察状況

(単位：件)

区 分	大津市	市外	計
要措置	19	3	22
措置不要	5	-	5
計	24	3	27

(7) 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律に基づく措置入院の年次推移及び状況

① 年次推移

(単位：件)

年度	20	21	22	23	24	25	26
滋賀県	41	24	56	55	76	63	63
大津市	8	6	15	16	23	23	22

② 入院状況

(単位：件)

区 分	平成 25 年度末	本年度中増減		平成 26 年度末
		措置命令	措置解除	
男	-	16	12	4
女	-	6	5	1

(8) 医療保護入院の入院届、退院届、定期病状報告

(単位：件)

年度	22	23	24	25	26
入院届	332	331	333	343	338
退院届	348	347	359	343	364
定期病状報告	196	183	181	171	166

(10) 自殺対策

滋賀県大津保健所において、平成18年度から20年度まで、自殺予防対策の一環として、3年計画でうつ予防対策事業の取組が行われた。

平成21年度から、地域自殺対策緊急強化基金補助金を活用し、自殺対策に取り組んでおり、平成26年度は下記の事業に取り組んだ。

事業名	内 容
相談機関ネットワーク体制構築	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市自殺対策連絡協議会 第1回（平成26年7月31日）：出席者11人 自殺の現状、「いのちをつなぐ相談員」派遣事業および「相談支援の手引き」作成について、今年度の取り組み 第2回（平成27年1月29日）：出席者11人 自殺対策の取り組みの報告、「いのちをつなぐ相談員」派遣事業の報告、「大津市自殺未遂者支援相談対応の手引き」について、各機関の取り組みの情報交換
大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業	<ul style="list-style-type: none"> ・協力病院に入院した自殺未遂者への「いのちをつなぐ相談員」による支援対象者：33人（昨年度からの継続14人含む） 協力病院：大津赤十字病院、大津市民病院、滋賀医科大学医学部附属病院 支援回数：1,148回（面接：117、訪問66、電話相談272、関係機関連絡535、関係機関同行7、ケース会議74、その他77） ・大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業検討部会 第1回（平成26年6月26日）：出席者13人 事業の現状報告、個別事例の支援経過、「大津市自殺未遂者支援相談対応の手引き」作成について 第2回（平成26年12月4日）：出席者12人 事業の現状報告、個別事例の支援経過、「大津市自殺未遂者支援 相談対応の手引き」について ・事例検討会：6回 ・協力病院との連絡会：4回
うつ病重症化予防促進事業	<ul style="list-style-type: none"> ・大津G-Pネット運営会議 第1回（平成26年7月31日）：出席者11人 G-Pネット活用の取り組み、精神科への一般診療科との連携に関する調査結果、大津市「いのちをつなぐ相談員」派遣事業の検討 第2回（平成27年1月29日）：出席者11人 G-Pネットの今後の方向性、診療所におけるうつ治療の現状に関する調査結果、大津G-Pネット一般診療科医と精神科医の連携に関する手引きの改訂版の検討 ・精神科への一般診療科との連携に関する調査を実施 対象：精神科医療機関15カ所、回収率100% ・一般診療科へのうつ治療に関する調査を実施 対象：221医療機関、回収率76.0% 認知度61.9% ・大津G-Pネット一般診療科医と精神科医の連携に関する手引きの作成、配布
人 材 養 成 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・大津市自殺未遂者支援研修会 詳細は、7精神保健（5）従事者研修会に記載
普 及 啓 発 事 業	<ul style="list-style-type: none"> ・自殺予防週間の啓発（平成26年9月10日～16日） 保健所に啓発のぼりを設置 街頭啓発を大津京駅前、膳所駅前、フォレオー一里山店前で実施し、啓発用ティッシュを2,100人に配布（9月10日） ・健康フェスティバルでの啓発（平成26年10月19日） アルコールパッチテストを用いて啓発 参加者数：195人 アルコール講座 参加者：28名 講師：森医師、杉山看護師（いわくら病院） ・出前講座「心も元気に過ごしてますか？」 実施回数：7回、参加者数：200人 ・医師会の出前講座への参画 平成26年5月24日 講師：石黒医師、参加者数：20人 同年7月26日 講師：青木医師、参加者数：10人 同年8月9日 講師：有村医師、参加者数：22人 同年11月8日 講師：柴原医師、参加者数：25人 ・風の会（サテライト開催）12月6日（土）参加者8人

8 健康被害

(1) 原子爆弾被爆者状況

「原子爆弾被害者に対する援護に関する法律」に基づく医療費の給付、各種手当の支給に関する申請窓口事務、健康診断、被爆二世に対する健診案内、訪問介護費用の公費負担申請窓口事務を実施している。

① 被爆者健康手帳交付状況・各種手当受給者状況

(単位:件)

	件数
被爆者健康手帳交付者数	159
健康診断受診者証交付者数	9
医療特別手当受給者数	6
特別手当受給者数受給者数	3
原子爆弾小頭症手当受給者数	-
健康管理手当受給者数	108
保健手当受給者数	10
保健手当(増額分)	-
介護手当受給者数	-

② 被爆者健康手帳交付年次別推移

(単位:件)

年度	22	23	24	25	26
大津市	187	182	174	169	159
滋賀県	439	429	406	391	373

(2) 原子爆弾被爆者定期健康診断実施状況 (単位:人)

	1回目	2回目	3回目
対象者数	176	166	169
受診者数	25	8	18
受診率	14.2%	4.8%	10.7%
要精検者数	6	4	9

(3) 原子爆弾被爆者がん健康診断実施状況年次別推移 (単位:人)

年度	22	23	24	25	26
対象者数	190	186	182	173	165
申込者数	35	32	30	29	29
受診者数	34	30	29	28	27
要精検者数	13	7	10	8	13

(4) 原子爆弾被爆者二世健康診断実施状況年次別推移 (単位:人)

年度	22	23	24	25	26
対象者数	78	78	82	81	87
申込者数	29	38	29	38	32
受診者数	29	38	29	35	30
要精検者数	7	7	7	12	0

(5) アスベスト対策事業

アスベスト(石綿)による健康被害を受けられた方、または、その遺族の方で、労働災害の対象とならない方に対して支給される救済給付の受付事務を実施している。

申請者数	1人
------	----